

D-function (歯科用両側性筋電気刺激装置) を利用した咀嚼筋痛への臨床応用



- 日時：2021年2月23日 (火・祭日) am9:30~pm12:20
- 会場：ホテルマリンパレスさぬき (高松市福岡町2-3-4) 無料駐車場有
- 参加費：会員・スタッフ 3,000円 未入会員 10,000円
- 定員：30名 (先着順)

事前にお振込みください 百十四銀行 本店営業部 普通 0595754 香川県保険医協会 会計 田中眞治



【講師】 田中 栄二先生

徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔顎顔面矯正学分野 教授

略歴

1993年3月 大阪大学大学院歯学研究科修了 博士 (歯学)
1995年4月 大阪大学歯学部 助手 (歯科矯正学)
1998年4月 広島大学歯学部 助手 (歯科矯正学)
1999年2月 広島大学歯学部附属病院 講師
2001年4月 広島大学歯学部 助教授 (口腔健康発育学講座)
2008年4月 徳島大学教授大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 教授 (口腔顎顔面矯正学分野)
2015年4月 徳島大学教授大学院医歯薬学研究部名称変更 教授 (口腔顎顔面矯正学分野)

【座長】 綾坂則夫先生 坂出市開業

【一部】 D-function (歯科用両側性筋電気刺激装置) を利用した咀嚼筋痛への臨床応用 実習付

【講演抄録】

顎関節症の病態のひとつである咀嚼筋痛障害は、咀嚼筋痛とそれに伴う機能障害を主徴候とするもので、主症状としては筋痛・運動痛・運動障害などが認められる。咀嚼筋痛障害に伴う主な病態は局所筋痛と筋・筋膜痛であり、これらを主訴として歯科を受診される患者は少なくない。歯科臨床において用いられる咀嚼筋痛障害の治療法には、理学療法、薬物療法、アプライアンス療法があり、中でも理学療法は副作用がなく、外科的侵襲のない治療法として知られている。経皮的電気刺激装置 (TENS) は、マイオモニターと同じく、電気療法とひとつであり、痛みの局所・周辺などに表面電極を貼付し、低周波を通電するものである。作用機序として、経皮から電気で末梢神経を刺激して鎮痛させるものであり、医科においても長年にわたり利用されてきている。

本講演では、咀嚼筋痛障害についての診査・診断方法を再確認し、その治療法の1つとしてD-Function (歯科用両側性筋電気刺激装置) を紹介し、明日からの臨床に役立ててもらうことを目的としている。

【二部】 マウスピース矯正/インビザラインシステムの紹介

全世界で900万人の治療実績、数々の先進技術と特許、AIとビッグデータを活用したデジタルソリューション、適用症例とサポートについてご紹介致します。

世界で技術的に優れたインビザラインシステムの適用範囲の症例とサポートについて初めての先生のための導入セミナーを案内いたします。

口腔内スキャナーもしくはシリコン印象で始められます。

インビザライン・ジャパン (株) 担当営業



お申込みは香川県保険医協会へFax下さい 087-802-1336

医院名	ご氏名		
ご住所	TEL	f a x	